

平成19年度後期高大連携授業の科目提供について

平成19年度後期高大連携授業は次の時期に開講を予定しています。ついては、各大学等から授業科目を提供していただきたいので、別紙1・2により御提案くださるようお願いいたします。

なお、前期開講科目の提出と同時に後期開講予定科目を既に提出した大学等におかれても、再度、御提出くださるようお願いいたします。

<年間スケジュール>

時 期	事 項	
前 期	19年 5月 、 19年 7月	大まかな授業開始時期と科目数 < 5月上旬からの5週間 > 10科目 (プラザ10) < 6月上旬からの5週間 > 9科目 (プラザ5・大館4) < 夏季集中2日間 > 1科目 (プラザ1) 講義時間帯 月～金の場合は17:30～19:00 土曜日の場合は13:30～15:00 (15:15～16:45)
	19年 6～7月	各構成機関において提供科目の検討(7月20日まで提供科目の報告)
	8月	後期開講科目の日程調整とシラバスとりまとめ
	9月	各高校を通して後期科目受講生を募集
	10月 、 12月	大まかな授業開始時期と科目数 < 10月15日の週からの5週間 > 4科目 (プラザ4) < 11月19日の週からの5週間 > 4科目 (プラザ4) < 土曜集中1日間 > 3科目 (横手等3) 講義時間帯 月～金の場合は17:30～19:00 土曜日の場合は13:30～15:00

平成19年度高大連携授業の概要

1 主旨

高校生が学問への関心を高め、あるいは進路決定の参考となるよう、大学及び短期大学等が提供する企画授業を受講する機会を設ける。

2 事業実施主体

実施主体 大学コンソーシアムあきた

共 催 秋田県学術国際部、秋田県教育委員会

3 事業の内容

大学コンソーシアムあきた（以下、「コンソーシアム」という。）が秋田県内の大学等に依頼し、高校生等のために特別に企画する公開講座を開催する。

(1) 対象等 秋田県内の高校生。
高等課程を設置し、かつ、大学入学資格を付与している
県内4専修学校の生徒。

高校卒業程度認定試験により大学進学をめざす者。

(2) 受講定員 上記のほか、講師の判断により社会人の聴講を認める。
各開講科目毎に30人程度を目安とするが、受講希望者が
多い場合には科目担当者との協議の上、できるだけ多くの希
望者が受講できるよう配慮する。

(3) 開講場所 秋田市(カレッジプラザ)、大館市(秋田看護福祉大学、秋田
職業能力開発短期大学校)、横手市、由利本荘市

(4) 開講時期 次の各期にそれぞれ10科目程度を週1回開講する。

前期 平成19年 5月～ 8月 (4月募集)

後期 平成19年10月～12月 (9月募集)

(5) 開講回数 授業時間は1回90分とし1科目を5回で構成する。
平日(月～金曜日)の夕方又は土曜日午後を開講する。
授業は週1回、原則として連続する5週に渡って行う。
土曜日等を利用した集中形式の開講は、1～2日間連続
講座とし、1日3コマまでとする。

(6) 時間帯 平日 午後5時30分から午後7時00分まで(90分)
土曜日 午後1時30分から午後3時00分まで(90分)
午後3時15分から午後4時45分まで(90分)

< 集中講義の例 >

第1講11:00～12:30 第2講13:30～15:00 第3講15:15～16:45

(7) 開講科目

開講科目は、大学等の雰囲気があり、受講した学問分野の考え方や手法に触れることができる内容とする。

平成18年度に受講希望が多かった科目

心理学、保育指導法、英語文化・コミュニケーション学、看護学など
大学等の特色や学部・学科を紹介するような科目

国際教養学、バイオテクノロジー、生物学、システム科学、デザイン、
機械工学、環境工学、日本法史学、物理学・化学、保育、看護学など

(8) 評価及び単位等の取扱い

評価は行わず、科目提供大学及び高校においても単位は与えない。

(9) 修了証の交付

通算で3講以上の受講者には、修了証書を交付する。

(10) 受講者アンケート

授業運営の参考にするため、受講者アンケートを実施する。

4 募集等事務

この事業に係る事務は、コンソーシアム企画部（以下、「事務局」という。）が行う。

なお、高校生向けの事業PRや募集事務については、秋田県教育委員会の協力を得ながら、各高校進路指導部を通じて行い、事務局が取りまとめる。

5 費用負担

- (1) 受講料等 受講生の授業料は無料とする。なお、教材費等実費が必要となる場合は、受講生から徴収する。
- (2) 講師謝金 コンソーシアムが負担する。
- (3) 会場費等 カレッジプラザに係る経費は県が負担する。
- (4) その他 郵送料実費として1科目につき120円分の切手を2枚初回受付で受講生から徴収する。

6 今後の進め方

- (1) 事務局は開講科目などについて大学等と調整し、授業要目(シラバス)をとりまとめ、高校生向けの募集案内及び時間割を作成する。
- (2) 地域貢献部会では、授業時間割、募集方法等について協議する。
- (3) 教育委員会は、共催者として県内高校に対し事業内容を周知する。
- (4) 事務局は、各高校進路指導部を通じ募集案内等を配布、周知を行い、受講希望者を高校経由で募集し、取りまとめる。
- (5) 応募状況等については地域貢献部会に報告する。

高等教育機関名

学部学科名		科目名/サブタイトル		科目担当者職・氏名
第1講	月 日()	(特記事項)		
第2講	月 日()			
第3講	月 日()			
第4講	月 日()			
第5講	月 日()	(開講場所)		
学部学科名		科目名/サブタイトル		科目担当者職・氏名
第1講	月 日()	(特記事項)		
第2講	月 日()			
第3講	月 日()			
第4講	月 日()			
第5講	月 日()	(開講場所)		
学部学科名		科目名/サブタイトル		科目担当者職・氏名
第1講	月 日()	(特記事項)		
第2講	月 日()			
第3講	月 日()			
第4講	月 日()			
第5講	月 日()	(開講場所)		

後期の提供科目について7月20日(金)までに御提出ください。

(別紙2)

高大連携授業<後期>提供科目授業計画書

高等教育機関名 _____

担当者名 _____

連絡先電話 _____

科目名		科目 担当者	(学科名) (職氏名)
授業概要			
授業方針 と留意点			
授 業 計 画			
テキスト			
参考文献			
内容的な 関連科目			
評価方法			

後期の提供科目について7月31日(火)までに御提出ください。